



2005 (平成 17) 年 10 月 20 日

各 位

会 社 名 生化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 水谷 建
(コード番号 4548 東証第一部)
問合せ先 常務取締役 矢倉 俊 紀
(TEL. 03-5220-8950)

大阪大学微生物病研究所における寄附研究部門の開設について

生化学工業株式会社(本社:東京都千代田区、社長:水谷 建)は、大阪大学微生物病研究所(本部:大阪府吹田市、所長:木下タロウ教授)に2006年4月1日より糖鎖を応用した医薬品等の開発を目指す寄附研究部門(寄附講座)「疾患糖鎖学(生化学工業)」を開設します。

本研究部門は、近年ポストゲノム研究領域において重要視されている「糖鎖」が疾患に如何に関与しているかを解明する基礎研究に取り組み、医薬品や体外診断用医薬品などの開発に役立てることを目的とするものです。糖鎖は生体内で情報や物質の交換に関与し、発生から老化まで生命現象の様々な場面において特異的な役割を果たしていることが明らかになってきました。一方、疾患への関与も注目されており、ウイルス等による感染症、免疫疾患、がんの発生・転移、生活習慣病など多くの疾患に直接的に関わっているものと考えられています。これらの疾患における糖鎖の構造や機能を研究し、その役割や作用を明らかにすることで、糖鎖や糖鎖遺伝子等を応用した画期的な治療法、診断法の開発につながることを期待されます。

本研究部門の担当教授には、谷口直之大阪大学教授が就任します。谷口教授は、糖鎖が持つ新しい機能や疾患との関わりを見出すための生物学的研究に精力的に取り組み、「糖鎖生物学」をライフサイエンスにおける重要な分野とすることに大きく貢献してきました。また、現在、CREST^{*1}「糖鎖の生物機能の解明と利用技術」の研究総括、21世紀COEプログラム^{*2}拠点リーダー(大阪大学、疾患関連糖鎖・タンパク質)および国際複合糖質連合の日本代表などを務めています。

生化学工業では、かねてより創薬対象物質として糖鎖および関連物質に重点をおくことを研究開発基本方針の一つとして位置づけ、次世代の独創的な医薬品等の開発に取り組むとともに、産学連携を重視し、糖鎖に関する基礎研究の発展を支援してきました。生化学工業は、本研究部門の開設により大阪大学微生物病研究所の糖鎖研究分野における国際的優位性と生化学工業の研究成果を有機的に統合させ、糖鎖をベースとした新しい治療・診断へのアプローチを効果的に進めることを目指します。また、研究成果の医療への応用を加速させることで、QOL(クオリティー・オブ・ライフ)の向上に貢献していきます。

< 寄附研究部門の概要 >

1. 大学名： 大阪大学微生物病研究所
2. 期間： 2006年4月1日～2009年3月31日
3. 寄附額： 1億2,000万円
4. 担当教員： 教授 谷口直之（大阪大学大学院医学系研究科 生体生理医学専攻
生化学・分子生物学講座教授）
5. 研究部門名： 疾患糖鎖学（生化学工業）
6. 研究計画内容

糖鎖遺伝子を用いた構造の改変(糖鎖リモデリング)による高度機能化およびその
制御（特に増殖因子受容体の制御とその応用）

糖鎖遺伝子の機能解明および糖鎖変化を利用したバイオマーカーの開発

炎症性疾患、がん等における糖鎖の役割の解明とこれら疾患の治療への応用

< 注釈 >

*1 「CREST」

文部科学省に所属する独立行政法人科学技術振興機構の戦略的創造研究推進事業です。国の科学技術政策や社会的・経済的ニーズを踏まえ、国が定めた戦略目標の達成を目指した基礎研究を推進しています。

*2 「21世紀COEプログラム」

平成14年度から文部科学省に新規事業として「研究拠点形成費補助金」が措置されたものです。世界最高水準の研究教育拠点を形成するための支援などを行っています。

以上

本件に関するお問い合わせは次にお願いたします。

生化学工業株式会社

総務部 IR・広報担当 鳥居美香子

tel.03-5220-8950